2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月6日

上場会社名　エヌアイシ・オートテック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5742　URL https://www.nic-inc.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役 会長兼社長ＣＥＯ　(氏名) 西川浩司
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員社長室長　(氏名) 橋本清志　TEL 03-5530-8066

半期報告書提出予定日　2026年11月10日　配当支払開始予定日　2026年12月1日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	3,801	15.9	142	727.9	144	538.9	138	203.3
2026年3月期中間期	3,279	13.7	17	△68.7	22	△59.1	45	△31.6

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	25.40	―
2026年3月期中間期	8.37	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	6,733	3,342	49.6
2026年3月期	5,970	3,269	54.8

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　3,342百万円　2026年3月期　3,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	20.00	―	21.00	41.00
2027年3月期	―	20.00			
2027年3月期(予想)			―	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	18.9	206	―	202	―	131	437.3	24.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	5,500,000 株	2026年3月期	5,500,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	51,446 株	2026年3月期	51,446 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	5,448,554 株	2026年3月期中間期	5,448,554 株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
３．その他 …… 10
受注及び販売の状況 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用環境の改善や底堅い設備投資需要を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、世界経済の不確実性に加え、アルミ地金価格をはじめとする原材料価格は高い水準で推移しており、先行きが不透明な状況が続くこととなりました。

当社関連市場においては、自動化・省人化投資およびＤＸ推進を背景に設備投資需要が底堅く推移いたしました。また、半導体関連分野においてはＡＩ関連投資が継続した一方、汎用分野では慎重な動きが見られ、ＦＰＤ製造装置関連分野においては投資調整の影響が残りました。

この結果、当中間会計期間の売上高は3,801百万円（前期比115.9％）、営業利益が142百万円（前期比827.9％）、経常利益が144百万円（前期比638.9％）、中間純利益は138百万円（前期比303.3％）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

［ＦＡ部門］

ＦＡ部門におきましては、一般顧客向け「アルファフレームシステム」の販売が堅調に推移しました。加えて、当社独自サービスである「カクチャ™」および「マーキングシステム™」を活用した受注が順調に拡大し、付加価値提案による差別化が進展しました。また、半導体関連市場を中心に大型構造物・局所クリーンルーム案件の需要が高い水準で推移しており、今後の受注拡大に向けて積極的な提案営業を推進しております。

この結果、当部門の売上高は2,676百万円（前期比104.2％）となりました。

［商事部門］

商事部門におきましては、複数の主要顧客向けの国内および海外向け大型設備案件の受注に加え、設備附帯品ならびに計測機器の販売が好調に推移いたしました。また、消耗品や治工具類の販売も堅調に推移し、売上増加に寄与いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,125百万円（前期比158.3％）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当中間会計期間末における総資産は、前期末と比べ763百万円増加し、6,733百万円となりました。これは主に、現預金が86百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が491百万円、仕掛品が343百万円、原材料及び貯蔵品が101百万円、それぞれ増加した一方で、富山事業所の売却もあったことにより有形固定資産が174百万円減少したことなどによります。

負債は、前期末と比べ690百万円増加し、3,390百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が153百万円、電子記録債務が465百万円、短期借入金が170百万円、それぞれ増加した一方で、長期借入金が98百万円減少したことなどによります。

純資産は、前期末と比べ72百万円増加し、3,342百万円となりました。これは主に、中間純利益の計上138百万円があった一方で、配当金の支払い114百万円があったことにより、利益剰余金が24百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が48百万円増加したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は412百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、59百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税引前中間純利益が164百万円、減価償却費の計上が113百万円、仕入債務の増加による資金の増加が619百万円あった一方で、売上債権の増加による資金の減少が445百万円、棚卸資産の増加による資金の減少が371百万円あったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、86百万円のキャッシュ・インとなりました。これは有形固定資産の売却による収入123百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出が34百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、59百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは短期借入金の増加による収入が170百万円、長期借入金の返済による支出が98百万円、配当金の支払額が114百万円あったことなどが主な要因であります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月８日に公表いたしました「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」からの変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	325,632	412,276
受取手形、売掛金及び契約資産	767,371	1,258,679
電子記録債権	164,523	118,485
商品及び製品	275,929	202,899
仕掛品	152,866	496,653
原材料及び貯蔵品	666,418	767,659
その他	42,400	25,756
流動資産合計	2,395,142	3,282,409
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,689,273	3,120,246
減価償却累計額	△1,944,399	△1,483,592
建物（純額）	1,744,874	1,636,654
土地	1,003,545	950,822
その他	1,556,982	1,494,430
減価償却累計額	△1,135,730	△1,087,097
その他（純額）	421,252	407,333
有形固定資産合計	3,169,671	2,994,809
無形固定資産		
その他	14,785	12,682
無形固定資産合計	14,785	12,682
投資その他の資産		
その他	390,408	443,547
投資その他の資産合計	390,408	443,547
固定資産合計	3,574,866	3,451,039
資産合計	5,970,008	6,733,449
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	381,286	535,187
電子記録債務	541,290	1,006,652
短期借入金	200,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	197,000	197,000
未払法人税等	6,760	37,147
賞与引当金	57,692	62,288
製品保証引当金	1,633	428
その他	170,026	145,972
流動負債合計	1,555,689	2,354,677
固定負債		
長期借入金	818,000	719,500
退職給付引当金	231,025	232,975
その他	95,416	83,735
固定負債合計	1,144,441	1,036,210
負債合計	2,700,131	3,390,888

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,930,400	2,954,408
自己株式	△34,791	△34,791
株主資本合計	3,197,809	3,221,816
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	72,068	120,744
評価・換算差額等合計	72,068	120,744
純資産合計	3,269,877	3,342,561
負債純資産合計	5,970,008	6,733,449

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	3,279,044	3,801,737
売上原価	2,586,591	3,053,163
売上総利益	692,453	748,573
販売費及び一般管理費	675,253	606,172
営業利益	17,200	142,400
営業外収益		
受取配当金	1,715	2,190
仕入割引	2,722	4,157
固定資産売却益	5,432	―
その他	703	1,783
営業外収益合計	10,574	8,131
営業外費用		
支払利息	5,119	5,521
その他	31	473
営業外費用合計	5,151	5,994
経常利益	22,623	144,537
特別利益		
固定資産売却益	―	19,619
特別利益合計	―	19,619
税引前中間純利益	22,623	164,156
法人税、住民税及び事業税	3,689	29,349
法人税等調整額	△26,710	△3,620
法人税等合計	△23,021	25,729
中間純利益	45,644	138,427

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	22,623	164,156
減価償却費	118,819	113,745
賞与引当金の増減額（△は減少）	△498	4,596
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,817	1,949
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△41	△1,205
受取利息及び受取配当金	△2,343	△2,216
支払利息	5,119	5,521
固定資産売却損益（△は益）	△5,432	△19,619
売上債権の増減額（△は増加）	338,049	△445,269
棚卸資産の増減額（△は増加）	△76,897	△371,997
仕入債務の増減額（△は減少）	△304,843	619,264
その他	9,097	△15,909
小計	107,469	53,017
利息及び配当金の受取額	1,703	1,648
利息の支払額	△5,119	△5,521
法人税等の支払額	△30,086	△1,634
法人税等の還付額	―	12,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,966	59,993
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,835	△34,011
有形固定資産の売却による収入	3,266	123,279
無形固定資産の取得による支出	―	△1,294
投資有価証券の取得による支出	△2,400	△2,400
その他	11	781
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,956	86,356
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△130,000	170,000
長期借入金の返済による支出	△98,500	△98,500
配当金の支払額	△114,223	△114,238
その他	△16,559	△16,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,283	△59,705
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△292,273	86,643
現金及び現金同等物の期首残高	598,750	325,632
現金及び現金同等物の中間期末残高	306,476	412,276

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間損益計算書計上額
	ＦＡ部門	商事部門	計		
売上高					
一時点で移転される財及びサービス	2,382,103	452,804	2,834,908	―	2,834,908
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	185,777	258,359	444,136	―	444,136
外部顧客への売上高	2,567,881	711,163	3,279,044	―	3,279,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	2,567,881	711,163	3,279,044	―	3,279,044
セグメント利益又は損失（△）	△28,885	46,085	17,200	―	17,200

（注）セグメント損益は、中間損益計算書の営業利益と対応しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間損益計算書計上額
	ＦＡ部門	商事部門	計		
売上高					
一時点で移転される財及びサービス	2,365,882	412,195	2,778,078	―	2,778,078
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	310,327	713,331	1,023,658	―	1,023,658
外部顧客への売上高	2,676,210	1,125,526	3,801,737	―	3,801,737
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	2,676,210	1,125,526	3,801,737	―	3,801,737
セグメント利益	32,096	110,304	142,400	―	142,400

（注）セグメント損益は、中間損益計算書の営業利益と対応しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．その他

受注及び販売の状況

① 受注実績

当中間会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高（千円）	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
ＦＡ部門	3,301,358	151.3	1,329,761	144.2
商事部門	933,412	139.1	205,629	133.4
合計	4,234,771	148.4	1,535,390	142.6

② 販売実績

当中間会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高（千円）	前年同期比(%)
ＦＡ部門	2,676,210	104.2
商事部門	1,125,526	158.3
合計	3,801,737	115.9